

第1回国際平和 NGO カンファレンス(案)

-韓国・日本・中国-

-韓半島平和統一と世界平和のために-

I. 事業目的

○本プロジェクトは米中および日中覇権衝突が起きる状況の中で領土紛争、歴史紛争、軍備競争などで一触即発危機状況に走っている、現東北アジア情勢の中で韓国・日本・中国の歴史・政治・経済・宗教などの多様な主題に対する深みのある議論を通じて各国の平和主導者が共同体的に解決するのに寄与できるように‘東北アジア平和 NGO ネットワーク’を構築しようと思う。

-東北アジアの平和維持と韓半島の平和統一に対する共同研究を通じた東北アジア平和問題を共同体的に解決しようと努力する。市民社会次元で東北アジア地域で平和共同体を創り出そうとするグローバル平和 NGO ネットワークを形成して平和守り(Peace Keeper),平和に仕える(Peace Maker),平和育てる(Peace Builder)としての発展的役割を伸張させるのに目的を置いている。

II. 事業方法

○このために東北アジア平和と韓半島平和統一のための国際平和 NGO ネットワークの形成も知識情報化時代のトレンドに合うように形成されなければならない。知識情報化時代の核心的な人的資源は各分野別専門家と言える。このような点で本事業では韓国・日本・中国の3国で東北アジア平和と韓半島問題に関する世論を主導できる国際平和 NGO 専門家たちを中心に専門家ネットワークを形成するのに焦点を合わせようと思う。

-国際平和 NGO ネットワークを通じて東北アジア平和と韓半島平和統一のために該当国家で世論を作り、市民社会次元で協力を増進させるのに注力する。このために本事業では優先的に韓国・日本・中国の3国でそれぞれ独自に活動している NGO や専門家たちのグローバル連帯を推進して各国実情に合う東北アジア平和と韓半島平和統一世論を主導していく代案を模索して協力するのに焦点を合わせようと思う。

III. 期待効果

○韓国・日本・中国の平和 NGO が歴史、政治、経済、宗教など各分野で平和の主導者で今まで活動した部分とこれから一緒に協力しなければならない部分に対する議論を通じて‘東北アジア平和 NGO ネットワーク’を構築しようと思う。

IV. 事業推進計画

1. 概要

○日時:2014.10.23.(木)- 25.(土)

○場所:(23日)中央(チュンアン) 大学校ソウルキャンパス 102館(薬学大学および R&D センター) 11階ユニバーシティ クラブ

ソウル、銅雀区(トンジャク) 黒碩老 84 中央(チュンアン) 大学校

ソウルキャンパス 102 館 11 階

電話 02-815-0052,820-6655

(24日)非武装地帯、(24-25日)全州(チョンジュ) 韓屋村

○大主題:21世紀東アジア平和体制構築のための摸索(1)

-韓国・日本・中国の近現代平和思想家を中心に-

○参席者:

1. 韓国 NGO:

チョン・ウンチャン前総理(同伴成長研究所理事長),

キム・ミョンヒョク会長(韓国福音主義協議会),

クォン・ヨングン総長(嶺南(ヨンナム)神学大学校),

ユ・カンジ院長(北朝鮮教会研究員), キム・ヨンハン教授(崇実(スンシル)大学校),

キム・ビョンノ教授(ソウル大学校), キム・ポクキ代表(KOPI),

パク・ユンス牧師(日本ビジョン共同体), パク・ジョンス教授(ジュンオン大学校),

ユ・ユサン牧師(ジョンジュヤンジョン教会), ホン・キハ牧師

2. 日本 NGO:

川上直哉事務総長(東北ヘルプ) 笹沼シオミ教授(慶応大学校),

野寺ヒロブミ(赤羽聖書教会), 岩野ユウスケ(関西学院大学),

趙ヨンサン(JEA), チョンキョンシユク(東京キリスト大学),

イムエリヤ宣教師(ガリラヤ教会)

3. 中国 NGO:

金 00 会長(朝鮮族牧師連合会), チョ・ヘラン教授(上海ファドン大学校),

チェ・セビン牧師(中国サンチャク教会),

パク・ヨングオン校長(ワンチョンカナアン農軍学校), ソ・イルグン牧師(中国オサン

教会), イ・キルロ宣教師(中国丹東)

2.細部日程

第1日目:10月23日(木)-中央(チュンアン)大学校102館(R&Dセンター)11階

09:00-09:30 登録

09:30-10:30 <開幕式>

司会:ホ・ムニョン博士(平和韓国代表)

開会:キム・ミョンヒョク博士(韓国福音主義協議会会長)

基調演説:チョン・ウンチャン前総理(同伴成長研究所理事長)

祝辞:クォン・ヨングン総長(嶺南(ヨンナム)神学大学校)

祝歌:キム・スジン CCM 歌手(ソリエル)

10:30~12:00 <第I部>聖書での“平和”は何なのか?

司会:イ・サンマン教授(中央(チュンアン)大学校)

1. “平和”に対する神学的理解-韓国

発表:キム・ヨンハン教授(スンシル大学校)

2. “平和”に対する聖書的理解-中国

発表:Cui Shibin 牧師(中国サンチャク教会)

3. “平和”に対する社会科学的理解 - 日本

発表:Shiomi Sasanuma 教授(慶応大学校)

全体討論

12:00-13:30 昼食

13:30~15:30 <第II部>韓国・日本・中国の平和人物に対する研究

司会:ユ・カンジ院長(北朝鮮教会研究員、平和韓国理事)

1. 韓国: “アン・ジュングン” の平和思想

発表:オ・イルファン院長(報勲教育研究員)

討論 1.Nodera Hirobumi 博士(赤羽聖書教会)

2.キム・マンホ会長(朝鮮族牧師連合会)

2.中国: “孫文” の平和思想

発表:Jhao Hailan 教授(上海ファドン大学校)

討論 1.キム・ビョンノ教授(ソウル大学校)

2.Kawakami Naoya 博士(東北 ヘルプ)

3.日本: “ウチムラカンゾウ” の平和思想

発表:Iwano Yusuke 教授(関西学院大学)

討論 1.パク・ユンス牧師(日本ビジョン共同体)

2. リ・ソンニム社長(リム風)

15:30～16:00 休息

16:00～18:00 <第Ⅲ部> 総合討論

司会:ホ・ムニョン博士(平和韓国代表)

* 総合討論は参席者全員が参加する時間です。

18:00～20:00 <晚餐および自由討論>

第 2 日目: 10 月 24 日(金) - DMZ, 155 マイル 平和の歩み(40 名)

時間	内容	備考
10:00-12:00	出発	120 分
12:00-13:00	臨津閣(イムジンガク)、第 3 トンネル	60 分
13:00-14:00	昼食	60 分
14:00-15:30	トラ展望台、都羅山(トラサン) 駅	90 分
15:30-18:30	全州へ出発(ソウルへ出発)	180 分